事例No.	2150
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	秋田県仙北市

事例区分	DX

タグ	・人材確保・育成 ・移住定住 ・ICT

事例種類	地域におけるデジタル人材の育成

事例内容・タイトル

企業ニーズに合致する地域のデジタル人材育成

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

170 企業ニーズに合致する地域のデジタル人材育成【秋田県仙北市】

事業の概要

○ 仙北市では、若年層が地域の未来を担う人材として地元に定着できていないという課題を抱えており、首都圏にある企業のサテライトオフィスを誘致促進することで、雇用の場、創業機会等の提供を目指している。

○ 市は、その取組の一環として、地域の未来を担うデジタルに強い人材の育成や地場産業の強化、地域の活性化等に繋げていく狙いで、地域のデジタル人材の育成講座を開催することとした。

○ さらに、デジタルデバイド解消を目指した高齢者向けスマートフォン講座、健全な情報リテラシーの向上を目指した小中学生向けスマートフォン講座の開催も併せて実施している。



広報せんぽく 10月号



デジタル人材育成チラシ

【参考情報①】 人口：2.5万人
関連URL：（仙北市IoT推進ラボ）
https://local-iot-lab.ipa.go.jp/lab?k=semboku-city-iot

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



仙北市では若者に魅力的な雇用の場等の提供を目指し、サテライトオフィス誘致促進事業を行っています。誘致活動と併せて、誘致企業のニーズにマッチした人材育成を行えば、相乗効果があるかと考えました。（仙北市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



「人の流れと新たな時代をつくるサテライトオフィス誘致促進事業」として、地方創生推進交付金を活用しました。デジタル人材育成講座は、その事業の一環として実施しています。



事業の近況を教えてください。



令和３年度のデジタル人材育成講座には、地元高校生や社会人ら10～50代の10名が受講しました。3チームに分かれ、スマホアプリ開発に挑みました。成果発表会では、学校掲示物の電子化アプリを開発したチームが優秀賞に選ばれました。

★担当：仙北市総務部 企画政策課★

令和3年度事業費　12,875千円
※上記、サテライトオフィス誘致促進事業費の内数
（うち、地方創生推進交付金（内閣府）　6,437千円）